



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 河村 康生 (TEL) 06-6531-1201
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	63,558	9.4	9,457	33.8	10,834	36.2	6,552	313.5
25年3月期第2四半期	58,072	△2.3	7,069	△14.7	7,954	△16.7	1,584	△67.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 14,678百万円 (-%) 25年3月期第2四半期642百万円 (41.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	77.34	77.28
25年3月期第2四半期	18.62	18.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	294,364	236,054	77.0
25年3月期	271,236	225,256	79.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 226,673百万円 25年3月期 216,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	41.50	61.50
26年3月期	—	25.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	42.50	67.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	135,700	15.3	19,000	23.3	20,700	17.9	12,100	14.0	142.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	94,000,000株	25年3月期	94,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	9,264,806株	25年3月期	9,270,685株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	84,732,673株	25年3月期2Q	85,118,814株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算	
第2四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和を背景に、輸出関連企業の収益改善や個人消費の持ち直しなど景気の緩やかな回復の動きが見られたものの、海外では欧州経済の停滞、新興国経済の減速等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

(日本)

国内事業につきましては、販売数量面では前年同期比7.5%改善しておりますが、製品価格については、高炉の値上げによる原材料コスト上昇を製品価格への転嫁に取り組んでまいりましたが、未だ途上にあります。原材料コスト及び電力費の上昇等をそれ以外のコストの削減と在庫益でカバー致しました。

この結果、国内事業は、売上高は452億5千8百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は91億6千万円（前年同期比33.0%増）となりました。

(北米)

北米事業につきましては、米国のマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC (Leavitt社)において販売数量が増加したことにより、売上高は84億3千万円（前年同期比13.5%増）と増加しましたが、Leavitt社での新規設備の減価償却費の負担増などもあり、セグメント損失1千6百万円を計上致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、主としてベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー (SUNSCO社)で販売数量が大幅に増加したことにより、売上高は98億7千万円（前年同期比33.6%増）と増加し、セグメント利益も3億1千7百万円（前年同期比492.4%増）と大幅に増加致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は635億5千8百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は94億5千7百万円（前年同期比33.8%増）、経常利益は108億3千4百万円（前年同期比36.2%増）、四半期純利益は65億5千2百万円（前年同期比313.5%増）となりました。

尚、対米ドル換算レートは1米ドル95円59銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,943億6千4百万円（前連結会計年度比231億2千8百万円の増加）となりました。

主な内容は、流動資産については、現金及び預金が57億1千6百万円、有価証券が18億2千7百万円、増加したことにより、流動資産合計で88億1千7百万円増加しました。固定資産については、投資有価証券が株式の時価の上昇による評価差額金などの増加により77億4千9百万円、SUNSCO社の設備投資や東京工場の東京第二工場集約に伴う設備投資の増加などにより有形固定資産が61億7千7百万円増加し、固定資産合計で143億1千万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は583億9百万円（前連結会計年度比123億3千万円の増加）となりました。

主な内容は、流動負債については、支払手形及び買掛金が66億3千7百万円増加、未払法人税等が12億5千9百万円増加したことなどにより、流動負債合計で84億6千2百万円増加しました。固定負債については、株価の上昇などにより繰延税金負債が26億1千3百万円、長期借入金が14億5千7百万円増加したことにより、固定負債合計で38億6千8百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,360億5千4百万円（前連結会計年度比107億9千7百万円の増加）となりました。

主な内容は、その他有価証券評価差額金が49億4千3百万円、利益剰余金が30億3千2百万円、為替換算調整勘定が20億8千3百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、国内経済の回復に伴い鉄鋼需要は回復しつつあります。価格面では、原材料の急激なコスト上昇をカバーするために、引き続き製品の値上げの浸透をはかり、又コスト削減の努力を致します。生産面では東京工場の東京第二工場への集約により、生産の効率化を具体化し、又太陽光発電設備の稼働を順次進めて事業化してまいります。

(北米)

北米事業につきましては、米国のマルイチ・アメリカン・コーポレーション（MAC社）では販売強化に努め、Leavitt社では自動車およびエネルギー分野など、新規分野での事業の拡大に努め、収益面の改善をはかってまいります。また、4月に操業を開始したメキシコのマルイチメックスS.A. de C.V.では、自動車関連の市場開拓に努め、事業の基礎固めに注力してまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社では大型投資の完了した16インチパイプミル及び第2CCL（カラー鋼板ライン）や第2CGL（連続溶融亜鉛めっきライン）などの新規設備による生産増と品質の向上により、国内外の市場開拓に努め、経営の安定化をはかってまいります。又インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、自動車マーケットの停滞と現地通貨安問題に直面していますが、収益確保に注力致します。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,595	62,311
受取手形及び売掛金	29,334	30,045
有価証券	19,008	20,836
製品	8,049	8,949
原材料及び貯蔵品	13,371	13,211
その他	3,742	3,565
貸倒引当金	△247	△247
流動資産合計	129,854	138,672
固定資産		
有形固定資産		
土地	30,367	30,431
その他	45,011	51,125
有形固定資産合計	75,378	81,556
無形固定資産		
のれん	79	372
その他	1,409	1,425
無形固定資産合計	1,488	1,798
投資その他の資産		
投資有価証券	61,175	68,925
その他	3,354	3,414
貸倒引当金	△16	△1
投資その他の資産合計	64,514	72,337
固定資産合計	141,381	155,692
資産合計	271,236	294,364

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,745	20,383
短期借入金	5,772	6,258
未払法人税等	2,298	3,558
賞与引当金	831	829
役員賞与引当金	74	73
その他	7,540	7,622
流動負債合計	30,264	38,726
固定負債		
長期借入金	10,194	11,652
退職給付引当金	3,087	3,190
役員退職慰労引当金	47	55
繰延税金負債	1,857	4,471
その他	528	214
固定負債合計	15,715	19,583
負債合計	45,979	58,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	211,892	214,925
自己株式	△20,504	△20,491
株主資本合計	216,805	219,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,375	10,319
為替換算調整勘定	△5,579	△3,496
その他の包括利益累計額合計	△204	6,822
新株予約権	102	112
少数株主持分	8,553	9,268
純資産合計	225,256	236,054
負債純資産合計	271,236	294,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	58,072	63,558
売上原価	45,788	48,434
売上総利益	12,284	15,123
販売費及び一般管理費	5,214	5,665
営業利益	7,069	9,457
営業外収益		
受取利息	96	143
受取配当金	674	575
持分法による投資利益	103	149
為替差益	1	480
その他	314	335
営業外収益合計	1,190	1,683
営業外費用		
支払利息	77	73
不動産賃貸費用	108	131
その他	119	101
営業外費用合計	305	306
経常利益	7,954	10,834
特別利益		
投資有価証券売却益	331	1
その他	3	0
特別利益合計	334	2
特別損失		
固定資産除却損	24	45
投資有価証券売却損	—	9
投資有価証券評価損	5,917	—
その他	4	0
特別損失合計	5,945	55
税金等調整前四半期純利益	2,343	10,781
法人税等	702	3,981
少数株主損益調整前四半期純利益	1,641	6,799
少数株主利益	56	246
四半期純利益	1,584	6,552

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,641	6,799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,157	5,539
為替換算調整勘定	269	2,492
持分法適用会社に対する持分相当額	△109	△152
その他の包括利益合計	△998	7,878
四半期包括利益	642	14,678
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	501	13,579
少数株主に係る四半期包括利益	140	1,098

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	43,254	7,428	7,389	58,072	—	58,072
セグメント間の 内部売上高又は振替高	49	—	—	49	△49	—
計	43,304	7,428	7,389	58,122	△49	58,072
セグメント利益	6,886	131	53	7,072	△2	7,069

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドを連結の範囲に含めたため、アジア事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた、第2四半期連結会計期間末のアジア事業の資産残高は、16,335百万円(前連結会計年度末14,271百万円)であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,258	8,430	9,870	63,558	—	63,558
セグメント間の 内部売上高又は振替高	82	—	—	82	△82	—
計	45,340	8,430	9,870	63,641	△82	63,558
セグメント利益又は損失(△)	9,160	△16	317	9,460	△2	9,457

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。